



公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会

JAPAN PRESTRESSED CONCRETE INSTITUTE



JPCI 公益社団法人
プレストレストコンクリート工学会

〒162-0821 東京都新宿区津久戸町4番6号 第3都ビル5階
TEL : 03-3260-2521 / FAX : 03-3235-3370
<http://www.jpcci.or.jp>

2021年6月発行

会長挨拶

公益社団法人プレストレストコンクリート工学会は、1958年にプレストレストコンクリート技術協会として設立されて以来、わが国のプレストレストコンクリート（PC）およびコンクリート構造に関する学術と技術の進歩、ならびに会員の資質の向上と国際的な情報交流を図り、社会の安全と発展に貢献してきました。

わが国は、昭和の時代に構築された多くのインフラ構造物の老朽化に直面し、さらに、近年、大規模災害にも度々遭遇しており、そのインフラ施設の補修整備・維持管理が喫緊の課題となっています。PC構造は、さまざまな優れた性能を有することから、橋梁、建築、容器、防災施設、港湾構造物などのインフラ施設に広く利用され、改築改修にも活用されています。PC技術による生産性・耐久性向上が環境負荷低減に果たす役割も大きく、2017年には本工学会は「PCサステナビリティ宣言」を公表しており、国際的な目標であるSDGsに対しても持続可能な社会の構築に大いに貢献すると考えます。

本工学会は、会誌の発行、各種技術規準の刊行、年次のPC技術講習会およびシンポジウムの開催、技術者資格認定事業、国際交流などの活動を行い、受託研究や公募研究、特別研究にも積極的に取り組み、PC技術の普及と発展に努めています。さらに、国際機関である *fib* に公益社団法人日本コンクリート工学会とともに日本を代表して参画し、重要な役割を担っています。

本工学会認定資格である「プレストレストコンクリート技士」および「コンクリート構造診断士」は、国土交通省より、コンクリート構造物の安全性の確保と長寿命化に貢献する専門性の高い技術資格であると認められ、両資格者のますますの活躍が期待されており、両資格の普及および有効活用推進に取り組んでいきます。

昨年度以来、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部の事業が延期や開催方法を見直しせざるを得ない状況となりましたが、今年度はさまざまな感染対策を施しながら活動を進めて参ります。わが国におけるPCおよびコンクリート構造分野の唯一の専門技術者集団として、社会インフラの維持管理と整備に向けてさまざまな事業を推進し、安全・安心かつ持続可能な社会の構築と発展のために貢献して参ります。今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第35代会長

阿波野 昌幸

(近畿大学 建築学部 教授)

主な事業活動

- (1) PC技術に関する調査、研究および資料収集とその成果の普及
- (2) PC技術の発展に資する国際活動
- (3) 会誌などの発行および講習会、セミナーの開催
- (4) PCに関する技術者の資格付与と教育
- (5) その他、本工学会の目的達成に必要な事業

シンポジウム

PC技術に関する学術シンポジウムとして、『プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム』を毎年秋に開催しており、2021年で第30回を数えます。シンポジウムでは、PCに関する調査・研究・設計・施工・維持管理など、多方面にわたる最新の技術や研究が発表され、技術者・研究者の研鑽および交流のため毎年多数の参加があります。



第28回シンポジウム 優秀講演賞受賞者

プレストレストコンクリート工学会賞

毎年、PC技術の発展に顕著な貢献をしたと認められる業績に対し、プレストレストコンクリート工学会賞（論文賞、作品賞、技術開発賞、施工技術賞）を授与しております。作品賞には、土木部門、建築部門および改築・改修部門の3部門を設けております。



プレストレストコンクリート工学会賞 賞牌

認定資格

■プレストレストコンクリート技士（PC技士）

プレストレストコンクリートの計画・設計・施工・管理に携わる技術者の質の向上を図り、PC構造物の品質を確保するとともに社会の進歩発展に寄与する目的で、1993年度にプレストレストコンクリート技士制度を発足しました。新設のみならず既設のPC構造物に関する業務、工事に本資格が活用されています。

国土交通省制定：「橋梁（コンクリート橋）」の点検業務（品確技資第30号）

■コンクリート構造診断士

本工学会は、長年にわたってPC構造物とコンクリート構造物の建設、診断、維持管理に関する研究活動を行ってきており、多くの技術や知見を蓄積しています。これらを活用することによって、診断、維持管理に関する幅広い知識をもった技術者を養成し、各種施設の維持管理の重要性が高まるなか、社会に貢献するため、2007年度にコンクリート構造診断士制度を発足させました。コンクリート構造診断士は、その高度な技術力と判断力に基づいた活動によって社会的な信頼を得て多くの分野で重用され、活躍しています。

国土交通省制定：「橋梁（コンクリート橋）」の点検・診断業務（品確技資第29号、38号）
「トンネル」の点検・診断業務（品確技資第191号、195号）
「道路土工構造物（シェッド・大型カルバート等）」の点検・診断業務（品確技資第278号、282号）

会誌「プレストレストコンクリート」の発行

会誌『プレストレストコンクリート』を隔月で年6回発行しています（創刊1959年）。主にPC技術に関する論文や設計・工事報告、工学会の活動報告などを掲載しており、論文や一般原稿を随時募集しています。また、特集号のテーマなどに関するご要望などもお寄せください。



講習会

PC技術の普及と最新技術の情報提供のため、講習会を開催しています。

- PC技術講習会（毎年6月頃、全国主要都市）
- PC技士試験講習会（毎年9月頃、オンライン）
- 技術規準・指針等の発刊に伴う講習会

国際交流

■ *fib* における活動

「国際構造コンクリート連合 *fib* (International Federation for Structural Concrete)」にわが国からは本工学会と（公社）日本コンクリート工学会が共同加盟しており、本工学会は主に構造分野、（公社）日本コンクリート工学会は材料分野を担当しています。本工学会は、総会、理事会、最高幹部会および研究委員会などに参加し、*fib* の重要な行事の企画、立案、運営、調査、研究活動に参画しています。

■ 調査団の派遣

国際会議開催時には調査団を派遣し、各種構造物の視察や関係機関の訪問を通じて国際交流を図っており、その概要を会誌にて報告しています。

委員会活動

PC技術の普及・発展のため、さまざまな委員会活動を行っています。常設委員会は、下記のとおりです。

- 総務委員会
- 会誌編集委員会
- シンポジウム実行委員会
- PCサステナビリティ委員会
- PC技術規準委員会
- PC鋼材委員会
- PC技術講習会委員会
- PC技士委員会
- コンクリート構造診断士委員会
- 国際委員会
- PC工学会賞選考委員会
- 公募研究課題選定委員会
- PCアーカイブス委員会

図書発行

各種図書を発行しており、会員価格にて購入いただけます。下記の主要刊行物のほか、各種講習会テキストや会誌のバックナンバーもあり、ホームページでご確認いただけます。

『フレッシュマンのためのPC講座（増補改訂版）』は、大学の講義テキストとしても活用されるなど、若手技術者への入門書として高い評価を得ています。

- フレッシュマンのためのPC講座（増補改訂版）
- コンクリート構造技術規準—性能創造による設計・施工・保全—
- 外ケーブル構造・プレキャストセグメント工法設計施工規準
- 複合橋設計施工規準
- PC斜張橋・エクストラードロード橋設計施工規準
- PC斜張橋・エクストラードロード橋維持管理指針
- 貯水用円筒形PCタンク設計施工規準
- 高強度コンクリートを用いたPC構造物の設計施工規準
- PC構造物高耐久化ガイドライン
- コンクリート橋・複合橋 保全マニュアル
- 高強度PC鋼材を用いたPC構造物の設計施工指針
- PCグラウトの設計施工指針—改訂版—
- PEシーすを用いたPC橋の設計施工指針（案）
- 更新用プレキャストPC床版技術指針
- プレキャストPC床版による道路橋更新設計施工要領
- 既設ポストテンション橋のPC鋼材調査および補修・補強指針
- 高強度鉄筋緊張PRC構造設計指針（案）・同解説
- 繊維強化ポリマー（FRP）のコンクリート構造物への適用に関する設計・施工指針
- 東日本大震災PC構造物災害調査報告書
- PC津波防災シンポジウム講演論文集
- PC定着工法（2010年版）

入会のご案内

本工学会の会員は、ホームページの入会案内にある各種特典が受けられます。入会をご希望の方は、ホームページより「入会申込書」をダウンロードして必要事項をご記入の上、下記の工学会事務局「会員係」へメールにてお申し込みください。

[e-mail:kaiinka27@jpci.or.jp](mailto:kaiinka27@jpci.or.jp)

■入会金・年会費

- 個人正会員 入会金：1,000円
年会費：10,000円
- 学生会員 入会金：不要*
年会費：2,000円（PC技術の入門書を進呈）

* 学生会員から個人正会員への移行時の入会金も不要

詳しくは「JPCI」でホームページを検索してください。